

宇治の禪寺巡りと坐禅癸祥の地で坐禅体験



お茶の京都

Discover
Premium
Green

萬福寺・興聖寺 地元ガイドと巡るツアー

参加者募集

文化財修理
現場を見学！

現在 黄檗山萬福寺では法堂・伽藍堂・鐘楼が現在修理中です。
今回のツアーでは、萬福寺では和尚による境内の案内と専門家による法堂の修理現場の説明、そして宇治観光ボランティアガイドが興聖寺や宇治川右岸地域の文化財について丁寧にご案内し、さらに興聖寺では坐禅体験も行います。



◆開催日時：令和元年11月2日（土）・3日（祝・日） イメージ
10時00分集合～16時30分頃解散

◆参加費：お一人様 5,900円

（参加費には以下の費用が含まれています）

- 萬福寺・興聖寺拝観料 及び 坐禅体験料金
- 萬福寺 黄龍閣にて普茶弁当の昼食
- ガイド料金 京阪電車（黄檗駅-宇治駅）運賃 保険 等



イメージ



◆集合場所：黄檗山萬福寺 三門前 京阪電車黄檗駅下車
徒歩約5分

◆募集人員：先着40名 最少催行人員 10名

- ◆申込先：お茶の京都DMO（一般社団法人京都山城地域振興社）
- ◆申込方法：お電話、FAX、メール（裏面参照）
- ◆支払方法：ご案内いたしますので出発前にお願いします。

行程（主な見どころはチラシ裏面参照）【全行程 約3.5km】

黄檗山萬福寺三門前 集合出発（10:00）→和尚による萬福寺境内説明→法堂修理現場見学→
（12:00）黄龍閣（名物の普茶弁当の昼食）→京阪電車黄檗駅---（電車で移動）---京阪電車宇治駅→
※ここからガイドクラブの説明を受けながら移動→興聖寺（拝観と坐禅体験）→宇治神社→
→宇治上神社→→→京阪電車宇治駅前解散（16:30頃）

主催：お茶の京都DMO（一般社団法人京都山城地域振興社）
協力：宇治観光ボランティアガイドクラブ 京阪電気鉄道(株)
黄檗山萬福寺 仏徳山興聖寺

●見どころ

・黄檗山 萬福寺

黄檗山萬福寺は1661年に中国僧「隱元隆琦禪師」によって開創されました。禪師は中国明朝時代の臨濟宗を代表する僧で、中国福建省福州府福清県にある黄檗山萬福寺のご住職をされていました。その当時、日本からの度重なる招請に応じ、63歳の時に弟子20名を伴って1654年に来朝されました。宇治の地でお寺を開くにあたり、隱元和尚は寺名を福建省の故山と同じ「黄檗山萬福寺」と名付けました。萬福寺の歴代住職は、殆どが中国から渡来した僧侶です。朝夕のお勤めをはじめ儀式作法や法式・梵唄（太鼓や銅鑼など様々な鳴り物を使い読まれる、黄檗宗独特の節のあるお経）にはその伝統が受け継がれており、今日の中国寺院で執り行われている仏教儀礼と共通する部分が多く見られます。



・仏徳山 興聖寺

興聖寺は仏徳山と号する曹洞宗のお寺で道元禪師を開祖とし、1233年に伏見深草に建てられたのですが途中で廃絶し、1649年当時の淀城主、永井尚政によって宇治七名園の一つの朝日茶園であった現在の場所に再興されました。全国に14000以上ある曹洞宗における最古の寺院です。そのため、坐禅発祥の地としても知られています。

・興聖寺の座禅体験

坐禅というと一般的には座敷で行うことが多いですが、興聖寺の坐禅は僧堂で行います。一般の方でも、実際に修行僧が寝起きしている「内単」と呼ばれる場所で坐禅を組むことが出来るため、より深く禅の教えを感じられます。座禅の経験が無い方でも丁寧に作法などの指導をしていただけるのでお気軽にご参加いただけます。



●特別見学・・・萬福寺 法堂修理現場

現在京都府文化財保護課による修理が行われています。瓦屋根を柿葺きに替えるため、屋根の骨組みが露出している状態となっている予定です。現場では文化財保護課の職員から詳しい説明を受けることが出来ます。

ツアー申込書

申込期限：令和元年10月29日（火）必着

<お申し込み方法>

お電話 Eメール FAX にて お茶の京都DMO宛 お申し込みください。

電話0774-25-3239 FAX0774-25-3238 E-mail:t-travel@kyototeacountry.jp

出発日 いずれかに○	フリガナ お名前（代表者）		
11/2(土)	お住まい		
11/3(祝)	電話番号	参加人数 (代表者除く)	

申し込み お問い合わせ先

お茶の京都DMO（一般社団法人京都山城地域振興社）

京都府知事登録旅行業 第2-694号

TEL 0774-25-3239

受付時間 9:00～17:00 ※土・日・祝日除く

※参加証は発行せずお名前を確認します。

集合場所に直接お越しください。

※個人情報とは本件の目的以外には使用いたしません。

※参加費は事前にお支払いしてください。

※集合場所には駐車場はありません。